

「河川・水防災技術分野」（平成31年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
衛星SAR等リモートセンシング技術を用いた堤防・河道の状態推定や河道の流下能力評価に関する技術研究開発	日本工営株式会社 かげやま けんたろう 陰山 建太郎	A
<p><研究概要></p> <p>中小河川管理においては、人員不足や財政的な課題から、定期的な測量や点検・調査が不十分である。近年の災害激甚化に備えるためには、“簡易かつ省コスト”であることを念頭に、流下能力を適時把握することが望まれる。そこで、本研究では、安価な衛星データを利用した堤防・河道の状況把握と流下能力評価を行う。</p> <p>本研究成果により、河川改修済みで計画高水位を設定している河川を対象に、計画高水位を超える区間の把握が可能となる。</p>		
<p><事後評価指摘事項></p> <p>A評価のためコメントなし</p>		

※ 評価基準

A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。

B：一定の研究成果があった。

C：研究成果があったとは言い難い。